

2006年11月1日

業績予想の修正に関するお知らせ

本年9月19日に公表した平成19年3月期中間期及び平成19年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成19年3月期中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)業績予想数値の修正 (連結) (金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	純利益
前回発表予想(A)	669,000	52,000	30,000
今回修正予想(B)	694,000	58,000	38,000
増減額(B-A)	25,000	6,000	8,000
増減率(%)	3.7%	11.5%	26.7%
(ご参考) 前期実績(平成17年9月中間期)	524,926	36,777	16,456

(単体) (金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	純利益
前回発表予想(A)	355,000	13,000	6,000
今回修正予想(B)	378,000	17,000	9,000
増減額(B-A)	23,000	4,000	3,000
増減率(%)	6.5%	30.8%	50.0%
(ご参考) 前期実績(平成17年9月中間期)	290,135	8,111	2,083

2. 平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)業績予想数値の修正 (連結) (金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	純利益
前回発表予想(A)	1,391,000	96,000	46,000
今回修正予想(B)	1,400,000	96,000	51,000
増減額(B-A)	9,000	—	5,000
増減率(%)	0.6%	—	10.9%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	1,143,699	80,759	58,802

(単体) (金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	純利益
前回発表予想(A)	709,000	30,000	12,000
今回修正予想(B)	723,000	33,000	12,000
増減額(B-A)	14,000	3,000	—
増減率(%)	2.0%	10.0%	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	601,362	25,960	7,355

3. 修正の理由

当中間期における連結の経常利益につきましては、金属価格等の外部情勢が好調に推移したほか、海外銅鉱山から前倒しの配当金を受領したことによる銅事業の増益に加え、米国セメント事業の増益等もあり、60億円程度前回予想を上回る見込みであります。単体の経常利益につきましても、外部情勢の推移と前倒し配当金の受領等を主因として、40億円程度前回予想を上回る見込みであります。

また、当中間期における連結の純利益につきましても、上記経常利益の増加に加え、特別損失の発生が少なかったことから、80億円程度前回予想を上回る見込みであります。単体の純利益につきましても、連結と同様の理由により、30億円程度前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期の連結経常利益につきましては、インドネシアにおける銅製錬所の操業一時停止影響を受けるものの、中間期の増益もあることから、前回予想並になる見込みであります。また、通期の連結純利益につきましては、特別損失の減少もあり、50億円程度前回予想を上回る見込みであります。

(注)上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上